

アクリル酸とMMAモノマーの事業交換について

日本触媒（本社：大阪市中央区、社長：柳田 浩）と住友化学（本社：大阪市中央区、社長：米倉弘昌）は、このたび、両社のアクリル酸事業およびMMAモノマー事業を相互に営業譲渡し、アクリル酸事業は日本触媒に、MMAモノマー事業は住友化学に、統合することに基本合意をいたしました。

従来、日本触媒が営業していたMMA事業と住友化学が営業していたアクリル酸事業を交換する「事業交換」の具体的内容は以下のとおりであります。

- 1．住友化学は同社愛媛工場のアクリル酸製造プラント（80,000ト/年）および製品の営業を日本触媒に譲渡する。
- 2．日本メタアクリルモノマー有限会社（日本触媒50%、住友化学50%）は次のとおり改組する。
 - 1）同社第1工場（愛媛）MMAモノマー製造プラント（40,000ト/年）および製品の営業は、住友化学が譲り受ける。
 - 2）同社第2工場（姫路）MMAモノマー製造プラント（50,000ト/年）は、新たに住友化学64%、日本触媒36%の合併会社とし、住友化学は32,000ト/年までのMMAモノマーの製品引取権を、日本触媒は18,000ト/年までのメタクリル酸の製品引取権を持つ。
- 3．日本触媒は、シンガポールMMAモノマー社（53,000ト/年、住友化学シンガポール60%、日本触媒40%）の全持分を住友化学に譲渡する。

以上の事業交換により新たに住友化学は48,000ト/年のMMA能力を、日本触媒は80,000ト/年のアクリル酸プラントを付け加えることとなります。（18,000ト/年のメタクリル酸の製品引取権は日本触媒に残ります）

〔別紙をご参照下さい〕

アクリル酸およびその誘導品ならびにMMAモノマー/ポリマーについては、アジア市場を中心に、今後とも世界的には、比較的堅調な需要の伸びが期待されるものの、アクリル酸およびその誘導品については、国際的的巨大メーカーであるBASFによるアジア市場への大規模な工場進出や高吸水性樹脂会社の買収攻勢にみられるような市場の困い込みによって、また、MMAモノマー/ポリマーについても、世界的な事業売却・事業統合等の合従連衡の進行とアジア地区での活発な新增設によって、メーカー間の競争は、ますます熾烈なものになると予想されております。

両社はそれぞれアクリル酸事業とMMA事業の両方の事業を行っておりますが、日本触媒は、アクリル酸の製造・販売のみならず、自ら幅広い誘導品（アクリル酸エステル類、高吸水性樹脂等）事業を展開しているものの、MMA事業についてはモノマーの販売を手掛けているのみで、ポリマー等の誘導品事業は行っておりません。一方、住友化学は自製のMMA

モノマーをベースに、幅広くMMAポリマー（シート、成型材料等）事業を展開しているものの、アクリル酸事業については、アクリル酸の単体（粗酸および精製酸）販売のみを行っており、自らはそれらの誘導品事業は行っておりません。

両社は今後の厳しい経済環境のもとで、前述のような熾烈な企業間競争に勝ち抜いていくためには、お互いに誘導品を有しているコア事業に経営資源を集中投入することにより、当該コア事業をさらに強化・発展させていく必要があるとの認識で一致し、今回の事業交換の合意に至ったものであります。

なお、本事業交換の実施時期については、可及的速やかに手続きを行い、2002年3月末を目途に完了させる予定であります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社日本触媒
広報部
電話 06 - 6223 - 9105

住友化学工業株式会社
総務部広報チーム
電話 03 - 5543 - 5102

事業交換概要

現状

事業交換後

住友化学

日本触媒

